

注目ポイント

- ✓先週は為替、株、金利がいずれも日銀会合を軸に大きく動いた。ドル円は利上げが確実視される日銀決定会合を控え、円買いが優勢だったが、日銀の利上げ後には今後の利上げペースが慎重との見方から円売りが加速し、1ドル=157円台後半へ。国内金利は中立金利引き上げ観測や国債増発懸念で、10年債が一時2.02%と約26年ぶりの水準に上昇。日経平均は、日銀会合前の調整で大幅下落し一時4万9千円を割る場面もあったが、利上げ後には安心感から多少反発して終了。
- ✓今週からクリスマス休暇で参加者が減る中、国内金利は日銀の利上げ継続観測や国債増発見通しが上昇圧力となる一方、既に10年債利回りは26年ぶりの高水準に達していることから、上昇も一服となろう。日経平均は材料に乏しいが、半導体株の戻り方次第では、年末に向けて5万円回復も視野に入るだろう。※次回発行は2026年1月5日の予定です。(門倉英司)

①マーケット動向(実績データ)

2025年12月15日

～

2025年12月19日

市場・指標			12月15日 ～ 12月19日		12月19日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	50,432	48,644	49,507	-1,329	-2.6%	
	 米国	NYダウ (ドル)	48,679	47,849	48,135	-323	-0.7%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	24,318	23,924	24,288	+102	+0.4%	

市場・指標			12月15日 ～ 12月19日		12月19日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	2.020	1.945	2.015	+0.070	
	 米国	10年 (%)	4.19	4.10	4.15	-0.03	
	 ドイツ	10年 (%)	2.90	2.83	2.90	+0.04	

市場・指標			12月15日 ～ 12月19日		12月19日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		157.78	154.40	157.75	+1.94	
	 ユーロ (円)		184.75	181.57	184.74	+1.80	
	 豪ドル (円)		104.32	102.32	104.29	+0.63	

市場・指標			12月15日 ～ 12月19日		12月19日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リト (ポイント)	2,020	1,984	2,015	+28	+1.4%	
	 米国	NY原油 (ドル)	57.80	54.98	56.66	-0.8	-1.4%	
		NY金 (ドル)	4,410	4,297	4,387	+59	+1.4%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年12月22日 ~ 2026年1月2日



株式

方向感なくもみ合いか

日経平均
【予想レンジ】 48,750 円 ~ 50,500 円

- 先週の日経平均は大幅下落。週初から米半導体株安に加え、利上げが確実視される日銀決定会合や米雇用統計を控え、持ち高調整の売りが続き、18日には一時4万9千円を割る場面も。週末こそ、米半導体株の反発と日銀の決定が予想通り(政策金利0.25%引き上げ)であったことの安心感から買い戻し優勢となり、4万9500円台を回復した。
- 年内の日経平均は、方向感なくもみ合いか。海外勢の休暇入りと日銀決定会合通過で手掛かりに乏しく、方向感の出にくい展開が予想される。注目は半導体関連株の反転で、戻りが強ければ日経平均は5万円回復や年末高が意識される可能性も。一方、戻りが鈍ければ利益確定売りが優勢となり、上値が重くなる展開を想定。

金利
(国債)

国債増発を懸念も上昇一服か

10年国債利回り
【予想レンジ】 1.970 % ~ 2.050 %

- 先週の国内金利は上昇。利上げが確実視される日銀決定会合を控え週初から断続的に上昇した国内金利は、19日に日銀が政策金利の引き上げ(+0.25%)を決定した後も、中立金利引き上げ観測が根強く、10年債利回りが一時2.02%と約26年ぶりの高水準に到達。積極財政を背景とした、国債増発懸念も債券相場の重荷となった。
- 年内の国内金利は、上昇一服か。日銀の利上げ継続観測や来年度予算での中長期国債増発の見通しが金利上昇圧力となる。一方で、先週10年債利回りは約26年ぶりの高水準に達していることから、上昇余地は限定的との見方も。国債発行計画が発表(26日)されると、市場は落ち着いて金利上昇も一服となる。

為替
(米ドル)

もみ合いか

米ドル/円
【予想レンジ】 156.50 円 ~ 159.50 円

- 先週のドル円は大幅に円安ドル高が進展。利上げが確実視される日銀決定会合を控え、持ち高調整の円買いが優勢となる中、週央には弱めの米雇用統計や米CPIもドル売り材料となった。しかし、週末に日銀が予想通りの利上げを決定したが、利上げペースが慎重との受け止めが広がり、反転円売りが加速し約1か月ぶりに1ドル=157円台後半まで円安が進んだ。
- 年内のドル円は、もみ合いか。海外がクリスマス休暇で参加者が少なく方向感に乏しい展開が想定されるが、26日の来年度予算案には注目したい。積極財政色が強い大型予算なら国債売り&円安要因となり得る一方、規模が抑制的な懸念後退により円買い戻しの展開となる。



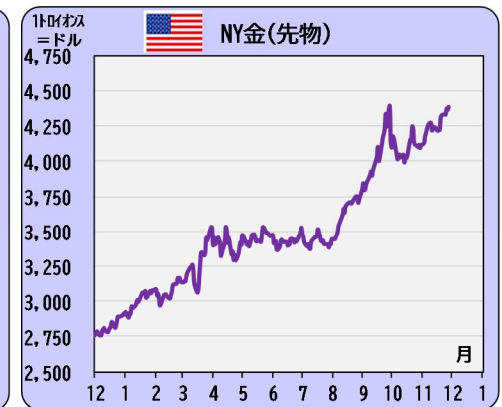
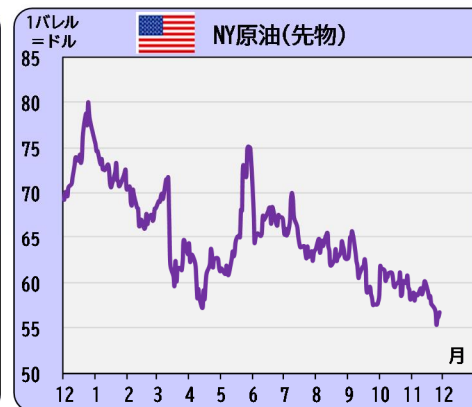
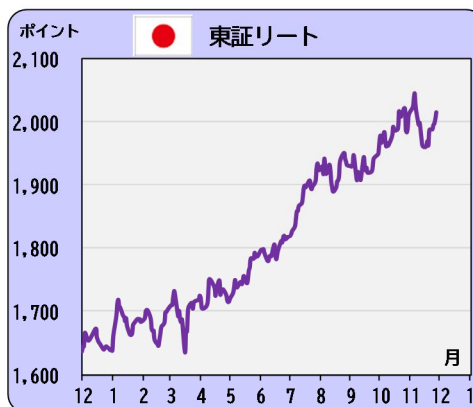
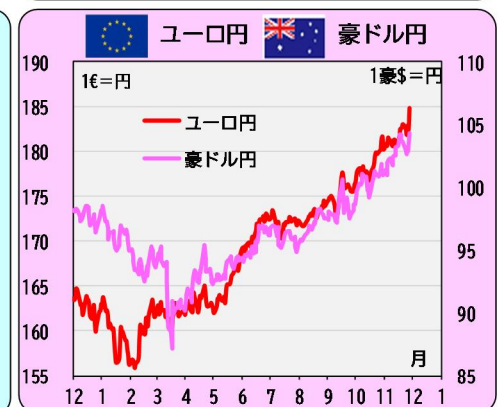
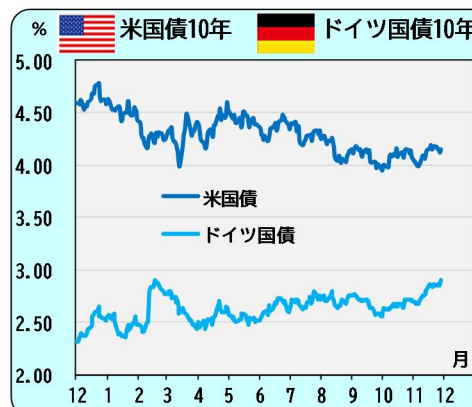
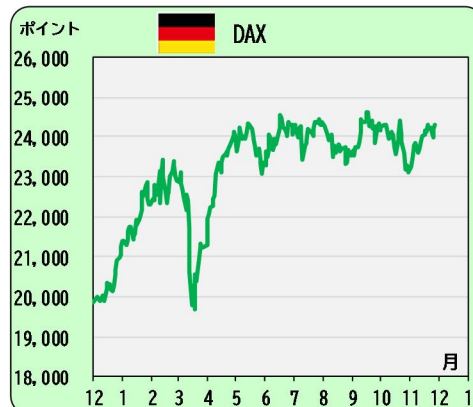
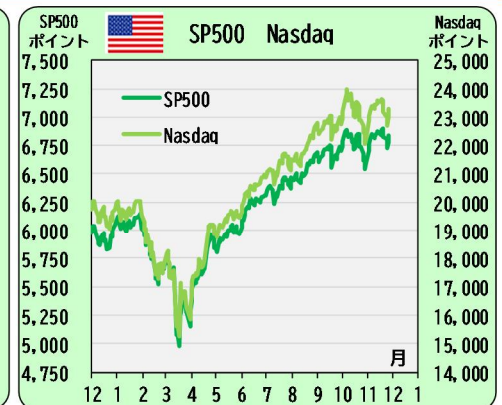
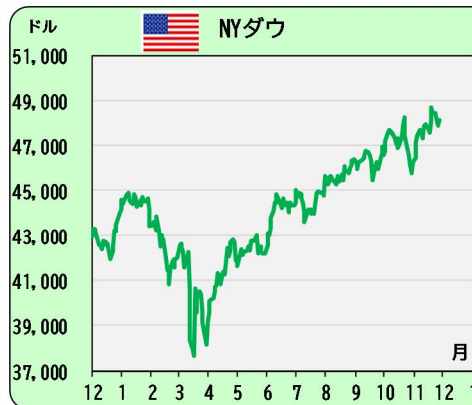
○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月日	国内	海外
12/23(火)		米国: GDP(7~9月)確報値
12/24(水)	日銀金融政策決定会合議事要旨(10月開催分)	
12/25(木)	国債入札(2年) 住宅着工統計(11月)	米国: 祝日(クリスマス)
12/26(金)	完全失業率(11月) 鉱工業生産指数(11月) CPI(東京都都区部12月)	
12/29(月)	日銀金融政策決定会合主な意見(12月開催分)公表	
12/30(火)	大納会	米国: S&Pケースシラー住宅価格指数(10月)
12/31(水)	大晦日(銀行・証券取引所休業)	米国: FOMC議事要旨(12/9~10開催分)
1/1(木)	祝日(元日)	米国: 祝日(元日)
1/2(金)	銀行・証券取引所休業	



③その他チャート集

直近1年間



※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
ADP	米国の給与計算代行大手会社	FOMC	米公開市場委員会	PBR	株価純資産倍率
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PCE	個人消費支出
CTA	商品投資顧問	FTA	自由貿易協定	PER	株価収益率
CTFC	米商品先物取引委員会	GDP	国内総生産	PMI	購買担当者景気指数
CPI	消費者物価指数	IMF	国際通貨基金	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
ECB	欧州中央銀行	IEA	国際エネルギー機関	SQ	特別清算指数
ETF	上場投資信託	ISM	米供給管理協会	TPP	環太平洋経済連携協定
EU	欧州連合	OECD	経済協力開発機構	WSTS	世界半導体市場統計
FDI	海外直接投資	OPEC	石油輸出国機構	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)
FF	フェデラルファンド	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み		

●ご留意事項

- 本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるをお願いします。
- 本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いします。